記者発表

平成２２年　１月１８日
国土交通省東北地方整備局
北上川ダム統合管理事務所

第１回四十四田ダム水源地域ビジョン策定委員会
開催のお知らせ

本委員会は、別紙の設立趣意書（案）に示すように、四十四田ダム周辺の豊かな自然環境、歴史、文化、観光資源、人材等の地域資源を活用し、水源地域の自立的・持続的な活性化などを図るため、「四十四田ダム水源地域ビジョン」を策定することを目的としております。

第１回目は委員会の設立を主として、下記のとおり開催します。

１．開催日時　　平成２２年　１月２１日（木）１５：３０～１７：１５

２．開催場所　　ホテルメトロポリタン盛岡　本館
（盛岡市盛岡駅前通１番４４号　　TEL 019-625-1211）

３．委員会名　　四十四田ダム水源地域ビジョン策定委員会
（　設置者　：　東北地方整備局長　）

４．設立趣意他　　設立趣意書、委員名簿（案）　（　別紙　）

なお、委員会の議事の公開については、冒頭で委員会の承認を得た後とします。

発表記者会：岩手県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省北上川ダム統合管理事務所
技術副所長　　鈴木　弘二
管理第二課長　丸山　雄吉
ＴＥＬ　０１９－６４３－７８３１

（　別紙　）

四十四田ダム水源地域ビジョン策定委員会
設立趣意書（案）

現在、ダム管理においては、従来から求められていた治水、利水だけでなく、水源地域の自立的、持続的な活性化を図り、水環境等に果たす水源地域の機能を維持するとともに、自然豊かな水辺環境や多様な地域資源を国民が広く利用できるよう、ハード、ソフト両面の総合的な整備を実施し、バランスのとれた流域の発展を図ることが期待されています。

このため、国土交通省では、関係行政機関や流域の関係者の理解を得ながら、水源地域の自治体、住民の皆さんと共同でダム毎に「水源地域ビジョン」を策定し、水源地域の活性化を積極的に推進することとしています。

四十四田ダムでは、適切なダム管理及びダム周辺の豊かな自然環境、歴史、文化、観光資源、人材等の地域資源を活用した、水源地域と下流域の流域共同体意識の醸成及び水源地の自立的・持続的な活性化の方策及び関係行政機関が行う支援方策等を定める「四十四田ダム水源地域ビジョン」を策定するために、有識者・関係行政機関・流域の自治体・流域の住民の皆さん・ダム管理者等による「四十四田ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立するものです。

四十四田ダム水源地域ビジョン策定委員会の委員（案）

１）学識者	海田　輝之	：岩手大学工学部　教授
	豊島　正幸	：岩手県立大学総合政策学部　教授
	千葉　啓子	：岩手県立大学　盛岡短期大学部　教授
２）産業	鈴木　俊祐	：松園商工会　会長
３）福祉	大信田　康統	：もりおか障害者自立支援プラザ所長
４）教育	小向　和秀	：盛岡市立北松園小学校　校長
5）歴史、伝統芸能	南部　　宏	：川又神楽復活後援会　代表世話人
６）地域活動	池田　貞子	：松園子ども自然観察園をきれいにする会　事務局長
	軍司　俊道	：ＮＰＯ法人北上川流域連携交流会　理事長
	及川　博康	：滝沢村東部地域まちづくり推進委員会　会長
	大河原　伸一	：松園地区自治協議会　常務理事
	遠藤　政信	：玉山区川又自治会　会長
	橋本　壽美男	：岩手町観光ボランティアの会　会長
	菅原　一兄	：八幡平市行政改革懇談会委員
	小島　博人	：ＮＢＣ日本バスクラブチャプター岩手　会長
７）関係機関	佐野　宏明	：岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター長
８）報道関係	小野寺　勲	：(株)岩手日報社　常務取締役
９）利水者	千葉　勇人	：岩手県企業局長
１０）行政	谷藤　裕明	：盛岡市長
	田村　正彦	：八幡平市長
	民部田　幾夫	：岩手町長
	柳村　典秀	：滝沢村長
	今野　政和	：岩手県県土整備部河川課　河川開発課長
	佐藤　英夫	：岩手県盛岡地方振興局　土木部長
	二村　信三	：東北森林管理局　盛岡森林管理署長
	田上　澄雄	：東北地方整備局　河川部長
	今　日出人	：東北地方整備局　岩手河川国道事務所長
	葛西　敏彦	：東北地方整備局　北上川ダム統合管理事務所長

計　　２８名